

5月18日の本会議で4つの特別委員会の各委員長から、この1年間の審査経過概要について報告がありました（要約掲載）。詳しい内容は、「行政資料コーナー」（市役所本館1階）や市議会ホームページ「会議録検索」で閲覧できます。

史跡整備・活用等 特別委員会

安満遺跡公園等の整備について、周辺道路である都市計画道路高槻駅緑町線の高垣町から野田交差点の区間は、道路拡幅工事を実施し、高垣交差点では、令和3年秋頃に大阪府警が信号機を設置予定である、との報告があり、委員から、全面開園に向けた公園の防犯対策について質問がありました。

次に、歴史遺産を活用したまちづくりについては、芥川山城跡の発掘調査成果として、検出したせん列建物は、城のやぐらと想定しており、三好長慶が城主の時代に建てられたと判断している。今回の調査は、芥川山城が持つ歴史遺産の価値を更に高め

るものとなり、引き続き検討を進め、城跡の保存と活用につなげていく、との報告がありました。

市街地整備促進 特別委員会

JR高槻駅のホーム柵設置について、令和2年11月に4番線への可動式ホーム柵を使用開始し、現在施工中の3番線は3年春頃に使用開始予定とされ、これにより全ホームへの設置が完了する、との報告があり、委員から、利用者等の評価について質問がありました。

次に、JR京都線茨木・高槻間における鉄道高架化の検討については、大阪府所管の芥川河川改修事業では河川改修に多額の費用を要す

るため事業実施が困難とされ、現在は「凌ぐ」施策として堤防強化を実施されていることから、2年度は大阪府河川室にオブザーバーとして鉄道高架化勉強会への参加を依頼し、芥川橋梁改築と鉄道高架化相互の影響等に関する検討を開始した、との報告がありました。

新名神・交通体系等対策 特別委員会

新名神高速道路の整備促進について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、開催を予定していた道路管理業者会議や交通量調査が中止となっており、引き続き、各道路管理者と調整を図りながら交通状況の把握に努めていく、との報告があり、委員から、コロナで交通量が減っている中でも渋滞が発生している現状について質問がありました。

次に、新名神高速道路等の沿道まちづくりについて、令

和2年8月に成合南土地地区画整理組合が、成合南地区のガイドライン「まち育てのみにちるべ」を発行し、組合解散後はまち育て協議会を設立し、新たに進出する企業との調整や協議会への加入を促し、エリアマネジメントを継続していく、との報告がありました。

地方分権推進 特別委員会

地方分権改革の推進に向けた取組について、第10次地方分権一括法での法改正等により本市に影響等のある項目の報告があり、委員から、人口減少、高齢化に伴う行政課題を解決するため、本市の地域の実情に応じた施策立案に向けてのきっかけづくりになるため、提案募集方式の全庁的・積極的な取り組みをしてほしい、との要望がありま

した。
次に、広域行政推進に係る諸課題について、島本町から消防業務に関し通信指令業務の共同運用など、一層の連携を求める旨の申し入れがあり、今後検討を進めていく、との報告があり、委員から、通信指令業務の共同運用の手法について質問がありました。

人事案件

監査委員に畑山和幸さん（長岡京市、66歳）を選任することに同意しました。

議会日誌

- 5月13日 議会運営委員会
- 18日 本会議第1日
議会運営委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会
本会議第2日
議会だより編集委員会